

令和8年 第3回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和8年3月24日(火)
午後3時～午後4時

2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室

3. 出席した委員
教育長 新子 寿一
教育長職務代理 田中 保和
教育委員 太田 貴之
教育委員 田辺 恵美
教育委員 黒川 裕美

4. 出席した職員
教育部長 桐藤 英樹
教育監 安田 典子
教育部次長兼教育総務課長 稲山 佳史
指導課長 小室 吉昭
スポーツ推進課長 清水 康弘

5. 議事案件
議案第6号 令和7年度かしわらっ子はぐくみテストの結果の公表内容について
議案第7号 令和7年度中学生チャレンジテスト(1、2年生)の結果の公表内容について
議案第8号 柏原市スポーツ推進委員の委嘱について

6. 報告事項

7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：それでは、令和8年第3回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、田中委員にお願いいたします。いつもでしたら前回会議録を事前にお送りしておりますが、事務の都合上、次回に2回分あわせてご確認をお願いいたします。さて、本日の議事に入ってまいります。本日の議事案件は3件です。どうぞよろしくお願ひいたします。議案第6号につきまして、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第6号令和7年度かしわらっ子はぐくみテストの結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。まず資料についてですが、全国学力状況調査と同様に、A4横の「結果概要」と、これまでのように詳細を記した冊子「結果に関する参考資料」として作成しました。なお、「結果に関する参考資料」は、概要版の下に記したリンクから見られるようにいたします。

それでは、まず概要版を使って説明いたします。調査目的及び調査対象学年はこれまでと変わりはありません。各学年4～500名程度受験しています。各教科の平均正答率といたしましては、全国実施校と比較し、3年生の国語、算数、6年生の国語に課題が見られます。5年生の国語、算数については、全国の平均正答率を上回っております。同一集団の経年変化では、5年生において、3年生、4年生と少しずつ成績を伸ばしています。同一学年の変化では、ここ4年間の結果を見ると、5年生が全国と比較してよい傾向となっております。

概要版右、アンケート結果をご覧ください。こちらは青マルに赤線が柏原市の結果になります。全学年に共通してみられる特徴としては、「周囲の支えや充実感・向上心」「授業で対話的な学びの機会がある」「学級の雰囲気」の項目において肯定的で、「学習習慣」のスコアが全国と比較し、下回っております。質問としては、「テストで間違えた問題は、あとでやり直していますか」や「学校の授業以外で、週に何日ぐらい勉強していますか」などになり、全国学力状況調査と同じような結果となっており、本市の課題があらわれております。

概要版、一番下の平均正答率との相関関係を6年生で見ました。こちらは、参考資料の5ページを使ってご説明します。ご覧ください。こちらは、内容的に肯定的に回答している児童ほど平均正答率が高い傾向にある質問を抽出しております。傾向と申しますのは、統計学的な処理を行っていませんので、傾向としています。グラフの見方ですが、自己肯定感の欄をご覧ください。平均正答率を上位から、4等分しそれぞれA、B、C、Dとします。A層が正答率の高い集団となります。自己肯定感の質問内容は、「学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだなと感ずることがありますか」との問いに、よくある、ときどきあると肯定的に答えた児童が、A層が多く、D層が少ないのを赤の矢印で示しています。

下段、「平日どのくらいテレビや動画を見たりインターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか」では、4時間以上のこたえた児童は、D層が多くA層が少ないという傾向が見られました。次のページも相関関係が見られると思われる項目をあげております。概要版に戻りまして、それをまとめたものが右下になります。

なお、本テストについては、今年度で終了いたします。説明は以上でございます。ご審議よろしくお願ひいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願ひいたします。

太田委員：今年度はどれぐらいの学校が受験したか分かりますか。

小室課長：府内では20市町程度と聞いております。3、4年生はやらないところや全く実施しないところ、また、全学年で行うところもある等、二極化している印象です。

太田委員：今年度で終わりということで、学校や教員サイドの受け止め方はどうでしたか。

安田教育監：課題が明らかになったから終わるといったところで、特に大きくハレーションはありませんでしたが、i-checkの使い勝手がよかったので、代替をどうするかは課題になっております。現場では、テストが減るという点で少しほっとしたところはありませんね。

新子教育長：他にご質問、ご意見等ございましたらお願ひいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第6号について、原案どおり承認してよろしいですか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第6号令和7年度かしわらっ子はぐくみテストの結果の公表内容については承認することにいたします。次に、議案第7号について、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第7号令和7年度中学生チャレンジテスト（1、2年生）の結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。

まず資料についてですが、全国学力状況調査と同様に、A4横の「結果概要」とこれまでのように詳細を記した冊子を、「結果に関する参考資料」として作成しました。市民に向けて公開することを前提に考えた場合、よりシンプルでわかりやすいものをとの意図で作成しております。なお、「結果に関する参考資料」は、概要版の下に記したQRコードやリンクから見られるようにいたします。

それでは、まず概要版を使って説明いたします。調査目的及び調査対象学年はこれまでと変わりはありません。1年生は、400名弱、2年生は500名弱の受験者数となります。

それでは結果の概要ですが、府と比較して概ね同程度ですが、2年生の数学が平均点で3.5点下回っています。前年度までの1年生との比較では、英語以外は上回っております。前年度までの2年生との比較では、数学以外の教科で、上回る結果となりました。

右にアンケート結果から見えた、強みと課題を載せています。強みとしては、「大事な部分や要点を意識して文章や資料等を読み取ろうとしている」「協働的にタブレット端末を活用する機会が増加している」「多様な考え方、他者との協働、挑戦心等において、肯定的な姿勢をもっている」「短時間であっても日常的に読書をする機会がある」、課題としては「わからないことや知りたいことを調べる機会が少ない」「日常的にスマートフォン等をゲーム・SNS等に使う時間が長い」といった項目が挙げられます。

続いて、特徴的な質問項目をいくつか挙げております。「PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面がどれくらいあるか」は、1、2年生ともに大幅に改善され府と同等まで改善されました。

続いて、参考資料をご覧ください。1ページは概要版で説明した内容になります。2年生同一集団の経年変化では、数学が下降しております。2、3ページをご覧ください。1年生、各教科の設問別結果になります。国語の上位層が府より多く、英語の上位層が府より少ない結果となっております。4、5ページは1年生の強みや課題の見られる問題についてのせています。英語については無回答率が高く、課題が見られます。6から8ページは2年生の各教科の設問別結果になります。数学の図形の領域に課題が見られました。また、数学と英語において80点以上の上位層の割合が小さいことも課題です。9、10ページは1年生同様、強みや課題の見られる問題についてのせています。

11ページからは生徒アンケートの結果になります。全11問全て載せています。表の見方についてご説明いたします。①は、大阪府との比較、②は肯定的回答の割合、③は1年次との比較になります。表の見方ですが、府との比較では、+10ポイントが◎、+5ポイントが○、-5ポイントが▽、-10ポイントが▼になりますので、質問番号4の「～は」10ポイント以上上下回っているという結果になります。また、肯定的回答については、90%以上を◎、80%以上を○、50%未満を▽、20%未満を▼になりますので、質問7は90%以上の肯定的回答という結果になります。そして、最後に昨年調査との比較では、+5ポイントを○、-5ポイントを▽で示しております。項目でみると、経年比較で、問2が5ポイント以上、問4が10ポイント以上上昇しています。端末入れ替えの成果が出ていると考えられます。

教育委員会としましては、本結果からわかることを学力向上推進委員会等を通じて学校に周知し、学力向上の取組みを進めてまいります。報告は以上でございます。ご審議よろしく申し上げます。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

太田委員：「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている」という項目が低いですが、わからないことがあったとき、わざわざ図書館に行って調べないかなと。みんなインターネットで調べると思いますが、図書館とインターネットが同列に記載されているので低いのかもかもしれません。この項目はそれほど重要ではないかなと思います。SNS等の使用についてもかなり改善されていますのでよかったと思います。

新子教育長：他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第7号について、原案どおり承認してよろしいですか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第7号令和7年度中学生チャレンジテスト（1、2年生）の結果の公表内容については承認することにいたします。次に、議案第8号について、スポ

ーツ推進課清水課長より説明をお願いします。

清水課長：議案第8号柏原市スポーツ推進委員の委嘱について、スポーツ推進課よりご説明申し上げます。スポーツ基本法第32条第1項の規定により、次のとおり委嘱するものです。次ページの柏原市スポーツ推進委員委嘱予定者名簿をご覧ください。名簿の方々について令和8年4月1日から令和10年3月31日まで2年間の委嘱をお願いするものです。名簿下5名については新たに委嘱するものです。以上、ご審議賜りますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第8号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第8号柏原市スポーツ推進委員の委嘱については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。

(学務課より給食費の改定について報告)

以上で第3回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員